大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　五月廿九日(火)

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二郎

東興から五百萬元 平綏線新借款
鐵道部西原借款と別個を辯明

【南京二十八日發國通】鐵道部は四月二十日東亞興業會社との間に平綏鐵路新借款五百萬元契約成立、二十七日附正式承認の旨發表した、鐵道部は右借款が西原借款と何等關係なしと辯明した

モネー氏計畫の銀公司內容

【東京國通】上海より廿八日外務省に對した報告に依れば支那政府顧問モネー氏が計畫した銀公司設立計畫案は宋子文、李石曾、力子、葉楚倉、陳興亞等發起人となり公司の章程も英文、支那文に飜譯され準備も完了したので目下財政部及び實業部に登記申請中であるが右銀公司は

一、資本金を千萬元とし支那銀行引受とす
一、投資事業は水利、衛生、牧畜、開墾、工業
一、引受人は宋子文、孔祥熙合して二百五十萬元中國銀行二百萬元、交通銀行百五十萬元、中華實用銀行百五十萬元、金城、中南兩銀行各二十五萬元浙江工業其他
一、右資本は不足なれば引受人の外より募集する

等をその內容としてゐる

四月中新京に於ける金融經濟狀況（四）
＝朝鮮銀行支店調査＝

六、錢鈔市況

鈔票對金票

市中現物は月初一一九圓一〇錢を唱へしが材料不引立に月央迄は一一九圓八〇錢を高値に一一九圓台上に釘付の狀況を呈せしが月央過ぎより米國に於ける銀價維持運動見込薄の報に紐育銀塊ノ奔落上海標金の暴騰を誘致し爲めに相場は逐日安値を辿り月末には一一〇圓七五錢と低落して越月せり

國幣對金票

滿洲特產物の不振に國幣インフレイション要望の聲各地にあがり居りしが月初一一一圓五〇錢と現はれて月央迄一一一圓台上を小刻みに上下し十七日に至るや逐に一一一圓台を割り續いて折柄の鈔票安、大興公司系東濟油房の大豆買付說に奔落に奔落を重ね月末に至るや一〇三圓五〇錢と下押して氣配軟化裡に越月せり

日時	鈔票對金票 圓錢	國幣對金票 圓錢	現大洋對金票 圓錢
二日	一一九、一〇	一一一、五〇	一一、〇
五日	一一八、八〇	一一一、三〇	一一三、三〇
一〇日	一一九、三〇	一一一、七〇	一一三、七〇
一五日	一一八、八五	一一一、一〇	一一三、一〇
二〇日	一一七、九五	一〇九、七〇	一一三、七〇
二五日	一一〇、七五	一〇三、五〇	一〇四、四〇

七、金融市況

一般市況上述の如かりし爲め新規資金の需要も多からず、當地金融界は依然として金融緩漫裡に推移したり

滿洲經濟開發に伴ふ諸企業も續々として勃興し居り、斯方面への投資も相當額に上り居るも、何しも他地方よりの流入多き爲めかへつて當地金融界は資金潤澤となり、當地組合銀行の月末殘高を見るも滿洲國幣勘定の預金貸出双方增加せるを除けば金票、鈔票兩勘定は何れも前月末殘高に比して預金增加、貸出減少を示し居れり、

當地日本側組合銀行の預金、貸出月末殘高は左の如し

勘定		月末殘高	對前月比較
金票勘定	預金	五〇、七四〇、八〇八圓	●四、九〇五、八六三圓
	貸出	九、三三〇、〇二八圓	△四四一、六〇九圓
鈔票勘定	預金	六、四七八、八四六圓	●六〇二、七九〇圓
	貸出	三一一、一七六圓	△七六、九二三圓
國幣勘定	預金	三、四六二、三五一圓	二、九四八、七七四圓
	貸出	八〇八、九六七圓	二三〇、七三五圓

●增加　△減少　（終り）

快刀亂麻より
愼重に法制の制定が必要
大達新法制局長談

新任法制局長大達茂雄氏は廿八日午後七時半着列車で阪谷次長以下滿洲國官吏多數の出迎裡に入京したが氏は語る

滿洲には十年前一度、三年前一度、都合二回ハルビン迄公用で來たきりで滿洲については何にも知らない、たゞ沿線の風景が、その頃から見ると大分家がふえたり耕作された土地が多くなつた樣に見受けられた、事變前から見ると大した變り方だ、滿洲に就ては殆んど認識が無いといつても良い

從つて新職に就ても具体的に取立てゝ云ふ程の抱負も方針もないが、新興滿洲國として次から次に新法制々定の必要に迫られるであらうが、快刀亂麻を斷つが如く片つ端から片付けて行くといふよりは、寧ろ愼重に建國の基礎となる可き確固たる法制の制定をなすべきだと思ふ

滿洲國官吏俸給令改正といふ樣な事は一寸耳にしたが詳しくは知らない、新任で何も分らないので何分共に諸賢の御指導を御願ひする次第である

日本產業 一割二分配決定

【東京國通】日本產業は廿八日午後第十九回定時總會を開催今期配當を二分增配の年一割二分配當と決定した

豐國セメント 七分配當

【東京廿八日發國通】豐國セメントは本日定時總會を開催一分增配の七分配當に決定した

沼津の黃マユ初相場
格段の安値

【靜岡國通】全國黃繭の標準相場を樹立する沼津繭市場の初取引は愈よ廿八日から開始同日は早朝から一切の準備が整へられ、午前九時四十分先づトップを切つて伊豆の西海岸西豆村の鈴木ぬいさん飼育の黃繭十六貫三百匁が持込まれた、出來は上乘である、初取引は午後二時から開始されたが、相場は目下のところ一貫目三圓四十錢見當で昨年の五圓八錢に比し格段の開きが豫想される

八年度の間琿地方 大豆輸出統計

【龍井國通】昭和八年中の間琿地方からの大豆輸出統計は次の如くであるが、七年度に比し數量に於て一割四分、價格に於て二割一分の增加を示してゐる

（一）八年中輸出數量及價格表（金額單位國幣圓、數量單位擔）

關稅別	數量	價格
龍井村	五六四、九〇八	一、八一九、二九〇
琿春及圖們	二七四、九四四	一、〇五八、七四六
計	八三九、八五二	二、八七八、〇三六

右表の數量計八三九、八五二擔は日本石數に換算すると約三十九萬五百三十余石に相當する

（二）七年度との比較

（イ）數量比較

稅關別	八年	七年	增減	增率（割）
龍井村	五六四、九〇八	四九八、六四五	增 六六、二六三	一、三
琿春及圖們	二七四、九四四	二三九、六一九	增 三五、三二五	一、五
計	八三九、八五二	七三八、二六四	增 一〇一、五八八	一、四

（ロ）價額比較

稅關別	八年	七年	增減	增率（割）
龍井村	一、八一九、二九〇	一、四七四、六〇二	增 三四四、六八八	二、三
琿春及圖們	一、〇五八、七四六	八九九、六五五	增 一五九、〇九一	一、八
計	二、八七八、〇三六	二、三七四、二五七	增 五〇三、七七九	二、一

香港上海航空路を獲得に狂奔
英米兩會社兩々相讓らず

【東京國通】イギリスの航空會社はロンドン、シンガポール、香港、濠洲間定期航空路を開設してゐたが更にシンガポール、香港線を上海へ延長して支那航空路と連絡せんとして猛運動をなしつゝあるが外務省着の情報によれば、アメリカ系の中國航空公司は上海、廣東線を香港に延長せんと主張し、英米兩會社は兩々相讓らず紛糾中である

世界一の飛行場 今秋中茨城縣に完成

【東京國通】霞ヶ浦航空隊の茨城縣海軍飛行場は今秋中に完成されることになつたが、これによつて同飛行場は總面積二百六十餘萬坪となり世界一の大飛行場となる譯である

新京を中心とした綜合經濟情況（十二）
滿洲事情案內所調査

最近一般商業者の數は非常に增加したが、なほ且つ商店の多くがサーヴイスに不平を招く程多忙である、これは人口の增加にもよるが他面一般生活程度の向上即ち「新京景氣」の一半を語るものであつて幾多の企業家が新京の商勢に惹かされて新開業を企てゝも建物の不足に如何ともなし難く、目下の如き、總てが、飽和狀態を遙かに越されてゐる都市の容量が今後の建設によつて擴大されてはじめて平常狀態となるのであらう

新京が如何に消費の方面に發展したか、これを數字的に見るに次表即ち驛到着の貨物數量、市場會社の賣上統計等の各年度數量比較によつて明かである

新京市場會社小賣商賣上高（單位圓）

業種別	八年度 店數	八年度 賣上	七年度 店數	七年度 賣上	六年度 店數	六年度 賣上
鮮魚商	九	七二、七九八	九	四三四、一三七	九	一六八、九九三
菜果商	四	二四七、五一	四	一一一、一三一	四	六九、三一三
肉商	五	一三三、一七〇	五	九〇、七六七	五	四七、三四〇
食料雜貨商	七	三三三、八一三	七	一五一、八四一	五	七二、〇二六
蒲鉾商	一	二〇、三七八	一	九、九九九	一	三、八七七
菓子商	一	二一、六八六	一	一三、四七四	一	六、一三
漬物商	一	九、六一〇	一	九四〇	一	—
[illegible]物商	一	一四、七三〇	一	八、八六二	一	四、八一〇
合計	二九	一、四六一、〇六六	二九	八二一、一三一	二六	[illegible]

新京驛到着主要貨物數量（單位キロ）

品目	昭和七年度	昭和六年度
米及穀	五、九四八	一、七七〇
小麥	三、三四一	一、九五三
生野菜	四、〇五一	—
生果	八、九七八	七、二六
柑橘類	二、一〇五	一、四九六
棉花	二、四三五	七四二
木材類	八、六六三	三二三
石炭	三、三二八	二二六、八〇六
石材類	三八二、三六五	四五二
碎石及砂利	四、〇七九	六九
煉瓦及瓦	二九、五一一	三〇四
陶器類	二、四六一	一、一五四
麥粉	二三、一七三	五
砂糖	八、二五三	二、三六七
煙草	一、八五六	一、一六二
酒類	三、七六九	一、一八四
家畜類	二、〇四一	二二六
綿糸	六、一六一	六、三〇三
綿布	九、九九五	九、四六一
麻袋	二、一七二	九三、五〇一
石油類	四、三四〇	一、七〇一
鹽	一五、八〇四	二、〇一〇
鮮魚及介類	一、三七四	二〇、五一三
鹽干魚及介類	四、三六八	一、七三一
セメント	一、二七四	八〇五
生石灰	三六、八六二	五、五五八
消石灰	一、九九九	一一五
紙類	三、七〇八	二一七
安平	二、七二〇	九、六二一
鑛及鋼製品	二、六五三	三、〇六八
鐵及鋼	八、四三四	一、八二七
藥品及藥材	三、四〇一	二、四五八
其他	二六三、八三五	一〇二、八六〇
合計	九四三、二六八	四三七、二七四

金融

一般金融狀況

當地金融市場に於ける繁閑並資金移動狀況を見るに、毎年十、十一月頃の特產出廻期より資金の需要を喚起し、十二月より三月頃に至つて最高潮に達し、金融界は一時に繁忙となる、其後特產の出廻減少と共に資金の需要減少し、四五月頃より八、九月頃に亘つては所謂閑散期に當面するが建築界は此の時を書入期とする關係上、此の方面に相當資金の需要を見る、而して國都に決定以來、建築方面を初めとして各方面に亘つて各種の新規企業が勃興して金融界は頓に繁忙を極めるに至つた

次に當市場に於ける商業資金（割引手形、荷爲替、當座借越）及工業資金（原料の買入其他の運轉資金）として需要されて居る資金額は最近迄は大體に於て、月額、金資最低七十萬圓、最高四百五十萬圓、銀資最低百四十萬圓、最高七百三十萬圓見當であつたが、最近は非常な增加を示してゐる、資金は主として手形貸、證書貸、銀資は主として割引手形、證書貸である

而して融資金の大部分を占むる特產資金は主として正金朝鮮の兩銀行が融通し居り、一般商業資金及材木資金は其他の銀行が之に當つて居るのである、今後は國都計畫の進むに伴ひ、新京に於ける金融界も愈々躍進的の數字を示して行くであらうことは、最近に於ける數字がよくこれを物語つてゐる（完）

三菱鑛業 一割二分配可決

【東京國通】三菱鑛業會社は廿八日午後二時定時總會を開催、今期配當を二分增しの一割二分を可決した

國際間通信 續々無電化

【東京國通】國際通信は有線から無線へと急速度な勢で進步して既に對米關係の外に我國とロンドン、パリ、ベルリンをはじめワルソー、ジユネーヴ間は日本無線の手に依つて無線通信が行はれてゐるが更に近く隣國支那とは多年の懸案を解決して六月一日から無線が開通するほか遞信省では南歐イタリーと無線電信による通信實施の交涉中であつたが、此の程イタリーのイタラ、ラヂオ電信會社と協力が成立し六月上旬から有線通信は廢止の豫定である、而して有線より無線は通信速度が早くなるばかりでなく料金も多少安くなり且料金が相手國と折半になるため國際貸借改善の上からも非常に意義を持つので遞信省では更に努力を拂ふことになり世は擧げて無線通信時代となつた

日滿戀曲 生命線を行く
國友雄吉 作　荒川芳三郎 畫

（百八十三）

花柳界の辭典

「そりや中傷だ。茂彦をつれて料理屋で泊つて來るなんて、そんな兄さんぢやないよ。馬鹿々々しい——」

久彌は、てんでそれを信じないで、輕く一笑に付した。

「そりやあれ、久さんは、伸一兄さんの崇拜者だもの、伸一兄さんのすることならどんなことだつて善意に解するんだものね——でも、相手の藝者は、葭町の勝代といふので、兄さんとは、滿洲からのお馴染で、泊つて來たのは「會水」といふ料理屋なの——それまで、ちやんとわかつてるわよ」と、梢も冷笑を酬いた。

「えらいね姉さんは、女のくせに、そんな事まで知つてゐるのかい。いつたい誰に、そんなことを聞いたのさ」

「誰に聞いたつて宜いわよ」

「ところが、僕は、ちやあんと知つてゐるんだ——それは牛込の兄さんだらう」

星をさゝれて、梢は、なんとも言はなかつた。

「茂彦兄さんと來たら藝者のことでも、料理屋のことでも、そりや專門なんだからね。あの人は、まるで、花柳界の百科辭典みたいな人なんだ」

「マア、あんな醜いことを——」

梢は憤慨する。

久彌は、飽までも反抗的に、

「伸一兄さんを尊敬し、信頼する僕の氣持は、誰が、何といつたつて搖りやしない。だから、若し伸一兄さんが、牛込の兄さんと喧嘩をしたのが事實であつても、それは、よく〳〵我慢の出來ない事情があつたからだ。僕は、伸一兄さんに同情するよ」

「え〻、さうでせうとも。久さんは、伸一兄さんで無くちや、夜も日も明けないんだから、たんと、兄さんを尊敬するが宜いわよ。あんな兄さん、尊敬するだけの價値が、何處にあるの？」

梢は冷やかに言ひ放つた。

久彌は、情ない、といつたやうな顔をして、

「なぜ、姉さんたちは、それほどに、伸一兄さんと、親しめないんだらうなあ、よく考へてごらんよ。姉さんだつて、僕だつて、是から先は、兄さんの世話になるんぢやないか。兄さんは、家の主人なんだぜ。僕たちは、第二のお父さんとして、尊敬すべき人ぢやないか」

「わかつてるわよ、そんなこと！　でも、いくら主人だつて、第二のお父さんだつて、いけないことはいけない、と言ふより外、仕やうが無いぢやないの」

「わからないなあ——だから、伸一兄さんには、惡いことは、なにも無い、といつてるぢやないか」

久彌の語氣は、だん〳〵尖つて來た。

「あらまだ、あんなこと言つてるわ。今度だつて、さうぢやないの、こんなに長い間、家を不在にして置きながら、何處に居るともわからないなんて、それでも無責任とは云へないだらうか」

「みんなが、寄つてたかつて、兄さんを、そんな風にしてしまつたんだ。何を仕やうと兄さんの自由だ。われ〳〵は、默つて居れば、それで宜いんだ！」

久彌が昂つて來るに引換へ、梢は、かへつて落着をみせて居る。それが彼女を底意地の惡い女に見せるのだつた。

「それならそれで、久さんの意見に從つて、あたしたちは、兄さんに服從するとして、お母さんは、どうすれば宜いの、まさか、お母さんに向つて——」

「お母さんだつて、同じことぢやないか、時と場合に依つては、老人は老人らしく子に從ふのもいゝさ——老ては、子に從へと云ふぢやないか」

「まあひどい！　あたし、お母さんに言ひつけてやるわよ」

梢は、大仰に、目をみはつた。

「どうなと勝手にするがいゝ！」

久彌は立上がつた。とたんに、障子が烈しく[illegible]れたが、見向もしないで、ピシヤンとしめて出て行つた。口惜しさうな梢の眼が、キツト、それを見送つた。

御名代の宮殿下 御來京愈よ日睫に

兩陛下御久方振に 宮中の御內宴

御直宮樣御揃ひ 御睦まじき初夏の御一夜

【東京國通】天皇、皇后兩陛下には二十八日午後六時愈々來る六月二日東京御出發、天皇陛下の御名代として滿洲に向はせられる秩父宮殿下並に同妃兩殿下及び半歲振りに御乘組の軍艦扶桑から御歸京あらせられた高松宮同妃兩殿下を宮中に招かせ給ひ、御內儀に於て御久し振りに御直宮樣方だけの御內宴を催され御歡談の中に晩餐の御會食を終へさせられ、更に茶菓を召されつゝ御話しは御名代宮の輝く御使命を中心に兩陛下には特に滿洲國皇帝 皇后兩陛下への御懇篤な御傳言等も遊ばされたと洩れ承る其他皇太子殿下の御近狀を始め宮中宮家の御近狀等に初夏の一夜を過させ給ひ、兩陛下には八時頃入御各殿下には夫々御退下御歸還あらせられた

御着京當日奉迎の 大提燈行列

郷軍其他一萬に賜閲を賜ふ

秩父御名代宮を御迎へする當地は全市を擧げて感激と昂奮の中に諸般の準備は着々と進められてゐるが、御着京當日各學校、各團体、一般市民約七千の大提灯行列を行ふべく關係者間に協議の結果、西公園前より中央通りに集合、滿鐵より頒けられる提灯を手に市民の赤誠を七千個の提灯にこめて御宿舍前に至り萬歳を唱和後市內を練り廻り南廣場に至り散會することに決定したが全市を火の海と化す七千人の大提灯行列の盛觀はさこそと推せられる、一方新京商業學校に於いては日系官吏に御賜謁後校庭にて在鄉軍人會員、聯合婦人會員、時局後援會員、商工會議所議員、各地方委員各區長その他各團体に御賜謁遊されるがその數は約一萬と豫想されて居る

御渡滿經費十萬圓

【東京國通】秩父御名代宮殿下御渡滿に要する警備費、御使用車設備費等の經費約十萬圓は第二豫備金から支出される事となり、廿九日の閣議で承認を受ける筈である

秩父宮殿下奉迎 提灯行列行進歌

赤塚吉次郎氏謹作

秩父宮殿下奉迎提灯行列行進歌は左の通り決つた、謹作者は新京商業學校教頭赤塚吉次郎氏である

一、榮え行く國滿洲の 初の皇帝の大みのり ことほぎまつる御使は あやにたふとき宮殿下

二、海をへだてゝ菊と蘭 高きかほりを通はせて 親睦今日よりいやまさん 使命かしこき宮殿下

三、故國遠き新京に 御姿仰ぐ民草の 歡喜充つる萬歳を 受けませわれらの宮殿下

(散歩唱歌の譜にて)

新京署の 不良狩

廿九名檢擧

新京署司法係では秩父宮殿下の御來京を控へ管內の不良分子の一齊檢束を二十八日午後八時三十分から係員總動員で全市に亙つて行つたが、特に不良者の集合する阿片の密賣所を襲ひ內鮮人二十九名を檢擧した、以上の二十九名は同署から再々說諭されてゐるので今回は嚴重處罰することになつた、なほ同係では今後こうした密賣者の根を絶つべく徹底的取締を行ふと

乞食一齊 檢束

新京署保安係では二十九日午前八時から管內一圓に亙り乞食の一齊檢束を行つた、狩り集めたもの四十九名でこれ等はいづれも取調の結果滿洲國側に送り南嶺の收容所に收容することになつた

新京飛行隊 創立記念祭

爆擊防空演習も行ふ

飛行第十二〇隊では新京駐屯を命ぜられてから早や二星霜を閲しその間幾多の功績を殘してゐることはこゝに贅言を要しないが、同隊では來る六月二日をトし創立記念式を擧げかねて戰病歿勇士の英靈を祭り、且つ防空思想普及に資することゝなり佐藤隊長から各方面に案內が發せられた因に同日のプログラムは

一、午前十一時より式典

一、正午より爆擊防空演習

一、午後零時三十分より饗宴餘興の演藝、假裝行列、又擊劍相撲もあり午後三時半頃終了

一、賣店の設備もある

一、雨天及泥濘の際は演習を取止む

一、一般觀覽を歡迎する

紛糾した赤帽問題 遂に圓滿解決

けふ覺書も快く承諾して 案外朗かに手打ち

曙光を見出した赤帽問題についての最後の會見は二十九日午前十時半鐵道事務所において體聯理事たる中山庶務長立會の下に行はれ、通濟公司谷口清氏から案の如く申出の寄附金千二百圓は月拂ひに願ひたいとの希望はあつたが、これに對し體聯幹事は前金說を持出したところ、谷口氏も案外あつりさと體聯側の主張を容れ、左記覺書も快く承諾、右寄附額を名記した體育聯盟寄附金名簿に署名捺印した、現金は先方の都合もあり今明日中に取揃へ鐵道事務所中山庶務長を通じて手渡されることになつた、これでさしも紛糾を重ねた赤帽問題もこゝに全く圓滿解決を告げた

今回新京體育聯盟に對する貴下の寄附行爲に對し茲に感謝の意を表するものなり

而して今回の寄附金一千二百圓也は昭和九年度(昭和十年三月三十一日迄)に於ける體育聯盟の費用の一部に充當するものにして將來に於ける鐵道事務所對通濟公司の手小荷物作業請負契約繼續を意味するものに非ざることを諒承せられたし

右念の爲茲に同文二通を作成し兩者間に各一通を保管するものなり

昭和九年五月二十八日

新京體育聯盟

理事長 荒木章

谷口清殿

採金會社設立 披露宴

滿洲採金株式會社創立披露宴は二十八日午後六時半新京ヤマトホテルへ日滿各界の代表約百名を招待開宴デザートコースに入り草間副理事長起つて理事長張弘氏事故不參を詫び會社創立の經過將來の抱負を語り幹部を紹介し挨拶を述ぶるところあり之に對し張實業部大臣來賓を代表して謝辭を述べ寛いで歡談九時頃散會した

學校通信

西廣場校 けふの父兄會

西廣場小學校では二十九日父兄會を催したが、當日はお母さんお姉さんが可愛いいお子さん方の學校生活を覗きに多數參席

授業參觀 午前八時—九時

學級懇談、講堂集會、同十時半十一時

總會 同十一時—正午があつて盛會であつた

西田天香氏講演

商業學校では二十九日午後一時から武道場で生徒一同一燈園西田天香氏の精神講話を聽講した

街の日記

滿電支店の 家族會

南滿洲電氣株式會社新京支店では六月一日の同社創立記念日をトし午前十時から西公園で家族會を催すことゝなつたが若し當日雨ならば會場を滿鐵白菊町會舘へ移とす

新京輸入組合 家族會開催

新京輸入組合加盟店の家族會は來る六月一日午前九時から西公園海軍記念碑前廣場で開催されるが運動競技その他にだいぶ秘められた珍趣向が公開される筈

日滿こんにやく 愈々發賣

富士町二丁目八番地に此程設立創業の日滿こんにやく製造販賣合資會社は周知の如く從來こんにやくには石灰を使用せずしては製造し得なかつたコンニヤクを內地で發明專賣特許による製法、即ち衛生上面白からぬ石灰を使用せずして製造する法を用ひ、未だ製法は秘し居るも衛生試驗の結果當地に於ても頗る好結果を得てゐる、四、五の出資者殊に料亭時雨の主人等滿洲に於て實に合理的の食料品として力を入れ目下各雜貨店等を介し宣傳中であるが同工場では普通コンニヤクの外白瀧更に青苔海を混じた幾多の料理用風味のもの等お好に應じ、種々製造し得て此の實現は全く蒟にやく界の革命とされ衛生上よく、消化良好、廉價三拍子揃つて好評を博してゐる

殺虫劑 フマキラー

新京日本橋通平本洋行では殺虫劑「フマキラー」の北滿總代理店として愈よ傳染病流行時に向ひ目下各家庭に於る常備にフマキラー宣傳中にあるが前記フマキラーは幾多數多き殺虫劑中各地博覽會等に於て有效率高きは度々立證され滿洲に於る需用三年を閲し蠅南京虫等面白き程の效力を顯し値段に於ては二合入七十錢一升罐詰三圓三十錢の格安で好評を博してゐる

廣澤氏醫院開業

市內日本橋通八十番地日本橋郵便局前に一般外科花柳病肛門病專門のドクトル廣澤德民氏がこの程開業した、同氏は山口縣の出身で福岡醫大三宅外科教室で外科を研究する傍ら、旭教室で皮梅科研究をなすこと三年續いて門司市私立門司病院外科部長を四年間勤め、續いて外科皮梅科研究のため七年間米國に留學し歸國後、山口縣宇部市公立同仁病院副院長に就任後自宅で外科皮梅科肛門專門院を開業し、本年四月二十日來京したものである

のらくら開店

吉野町一丁目隆泰公司前側に「のらくら」を屋號ののらくらだんご、のらくらまんぢう、のらくら羊羹、のらくらサイダー、のらくらソーダ水、のらくらキヤラメル、のらくらチヨコレート等々、小供たち大よろこびで押すな押すなの大繁昌ぶりである

盜難屆

▲三笠町一丁目十二番地近藤辰吉氏所有自轉車一台時價五十圓を二十六日午後七時三十分ごろ自宅前で竊取された

▲日本橋通新京ビル三階三十六號黑田波男氏所有自轉車一台時價四十五圓を二十六日午後五時から同七時の間に階下玄關口で竊取された

▲東五條通二番地賀成林氏方へ二十六日午後四時三十分ごろ家人不在中表入口から何者か侵入し女物青色支那長衣外二點十五圓を竊取された

けふの銀相場

鈔票對金票	一二一、〇〇
國幣對金票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

劍道選士揃つて 晝食辨當から中毒

大同自治會館の支出しで 憲兵隊で取調べ

二十七日午前十時から大同自治會館橫手の野球場で華々しく擧行された、滿洲國主催の全武道大會に出場した新京憲兵隊劍道選手安藤曹長 增田軍曹、石塚軍曹、小林軍曹の四氏は當日の晝食にあてられいづれも午後になり腹痛をおこしたので直に衛戍病院の診斷を受けた結果中毒と判明したが同日の晝食辨當は大同自治會館の支出しであるため同隊では大同自治會館の食堂につき調査を進めてゐる

憲兵隊だけの 中毒はヘンだ

大同自治會館の話

右に就き大同自治會館では語る

まだ何んの通知も受けてゐませんがそれが事實であると申譯けないことですが、當日の辨當は全部私方で出したのですがまだ警察關係からも通知を受けないのですが憲兵隊の方のみがあてられたとすると何が原因してゐるのか判りません

建築其他諸材料の 運賃引下運動

漸次、表面化されん

滿洲國建設工作最盛期を控へ各種主要材料の荷動き殷盛を極めて居るが、鐵材、石灰、石炭、諸機械を始め日用品、雜具等の輸送運賃高率なるため豫て工業者並に一般事業界で、之れが引下を希望して居たが新京、奉天其他主要都市の事業者が中心となり一般の興望を背景に運賃引下運動を開始すべく漸次表面化するに至つた

滿電マーケット 景品當籤券

滿電新京支店景品附陳列所改築披露マーケットは二十八日で終了景品抽籤の結果左の通り當籤したから引換券持參六月十五日迄に受取られたしと

一等四十圓三四〇▼二等二十圓三一九、四三二▼三等十圓四、一六三、二二〇、四四九▼四等五圓二三一、三〇三、四三五、四七九、一六六、二〇四▼五等二圓、二〇七、二三〇、二二、一三九▼五等三八、二五六、五〇、五一、六二、二九九、一八二、二三六、三四、四五〇、一一四、二〇四二八、三〇〇、四四六、三三三、三四三、二九五、三二〇、二四、二〇三、八七、三五六、三八五、三二七、四一八、二六、四一、三八四、四二六、三九、二七〇、二六七、三六七、二六九、九九、二五四、二四四、三四六、二八三六〇、四一六、二一八、一五五、一四、二〇五、三二九、六一、三七二、二九八、以上は米國製高級粉末石ケン二個宛

馴染み女に 嫌はれて悲觀

滿人ボーイ自殺未遂

二十八日午後十時ごろ市內三笠町四丁目十二番地滿人料亭慶樂棲十三號室で朝日通東亞ホテルボーイ徐恩祥(一九)が同家の野菜切庖丁で咽喉部をかき切り自殺を企て、虫の息となつてゐるを家人が發見し、直に同仁醫院に收容應急手當中であるが、生命は危篤である、急報に接し新京署から係員が急行檢證を行つたところ同人は一ヶ月前から同樓抱へ妓女馬俊鈴(一七)に馴染を重ね毎夜の如く登樓しておつつたが、最近金に窮し女に拒絶されたのを悲觀し覺悟の自殺を企たものである

賑はふ娘々祭

きのふけふ、大屯へ々々々 茲もと滿鐵書入れ

國內の治安なつて民は國土に耕し播種も濟した滿洲國人は彼等にとつて唯一の慰安大祭とされてゐる娘々祭にどし々々詰めかけて、廿八日初日の大屯埠豐山上は優に一萬五千人を算し事變以來の盛大であつた、二十八日四平街、新京間列車利用者が一千七百四十六名で二十九日は二千名位の列車利用者があると目されてゐる、二十九日午前十時までに早くも新京から五百名、公主嶺から三百名、大屯から三百名の乘客あり、同日は山上で二萬人位の人出になるだらうと、三十日は本祭りのためますます乘客の增加を豫想して新京鐵道事務所では三十日から臨時列車に二輛增結することになつた

來る六月末日まで 忠靈塔寄附金

受託期を延長する

關東軍司令部內に設けられた忠靈顯彰會の委囑により本社で取扱ひつゝある忠靈塔建設基金募集は、その締切を五月末日と豫定してあつたが熱誠なる醵金者の希望により一ヶ月を延期し六月末日締切といふことに變更した、これは滿洲は勿論內地方面でこの聖なる事業に協力するもの多く五月末日締切では折角の醵金者の希望に副へない點があるからで、從つて本社では受託をつゞけ芳名は本紙に掲載し忠靈顯彰會へ寄附金取次の勞をとるから遠慮なく利用されたい

全滿唯一の 模範庭球コート

二十日までに完成

新設庭球コート(三面)工事に就ては既報の通であるが、右は東洋コンプレッションの助川氏の請負に歸し去る二十六日地鎭祭を擧げ目下工事進捗中、で遲くも六月二十日迄には完備の豫定である、尚新設コートの周圍には一般ファンの爲ベンチ數百個を設けコートの北側は選手の脫衣場及休憩場、水道の施設等至れり盡せりの設備を施し全滿唯一の模範コートたらしめるべく工費總額七千圓を費してゐると

滿鐵社員野球戰 決勝

卅一日公園で

連日開かれてゐる新京滿鐵社員春季スポンヂ野球大會は日を逐ふて激戰を演じてゐるがいよいよ三十一日の決勝戰に地方事務所軍と、用度處軍が殘り當日の戰ひは新京オールファーンから待望されてゐる場所も西公園でやる予定、なほこの試合で優勝したチームには初優勝旗が授けられる

東京倶樂部 來征

一般庭球ファンに期待されてゐる東京倶樂部庭球チーム對全新京軍との試合は、愈々來る六月十二日午前九時より益濟寮コートに於て開催されることに決定、佐竹選手監督よりそれぞれ通知を發したが、來京後東京チームの日程は左の通りであると

▲十一日午後一時五十五分新京驛着▲十二日午前九時より新京對戰▲十二日午後十時新京發奉天へ

因に東京チームは七組にて全新京軍に於てもベストを盡して奪戰すべく今から猛練習を開始するに至つたと

新京競馬(廿九日)

△第一競馬(六頭)一、六〇〇米(一)富貴(騎手太田)二分二八秒(二)丹勇(三)呑天配當(復)(一)一六圓八十錢(二)四圓四十錢 搖彩票一等十五圓三〇錢、二等三圓八十錢、等外一圓二〇錢

▲第二競馬(十頭)一、六〇〇米(一)滿洲勇(騎手石田)二分二〇秒(二)惠愛(三)金光、配當(一)三圓六〇錢(二)四圓九〇錢(三)四圓三〇錢(單)五圓四〇錢 搖彩票一等六八圓〇〇錢、二等十九圓四〇錢、三等九圓七〇錢等外三圓四〇錢

▲第三競馬(十一頭)一、八〇〇米(一)荷葉(騎手田中)二分三六秒(二)天峰(三)矢吹配當(復)(一)三圓二〇錢(二)三圓八〇錢(三)三圓三〇錢(單)五圓五〇錢 搖彩票一等一一〇圓二〇錢、二等二一圓四〇錢三等一五圓七〇錢等外四圓九〇錢

▲第四競馬(四頭)一、六〇〇米(一)夕張(騎手仁田)二分一九秒(二)矢風(三)玉免(單)一一圓六〇錢 搖彩票一等七二圓一〇錢等外六圓〇〇錢

新版江戸八景（禁上映上演）

行友李風氏外四氏作　鏑銀平他二氏畫

江戸役者こ御殿女中　五八

行友李風

尾張家の家臣成瀬隼人正の下邸は、原町にありました。

大公儀よりの附家老ですから、陪臣にして陪臣にあらず。――尾州犬山の城主で三萬石。その勢ひも、まことに浩大なものであります。

その夕刻。

書院にあつて、書見にふけつてゐるところへはいつてまゐりました小姓。

『申しあげまする――』

『何事ぢや』

『唯今、御老中秋元但馬守殿のお使ひと申されまして、これなる書状を持参いたされましてござりまする』

『うむ――これへ――』

と、取り寄せ、拜見すると、内々に申し入れたき儀これあるによ り、明朝八つまでに役宅まで御足労相成りたしといふ意味の文面。

讀み終つて隼人正。

『お使者にはお歸りなされたか――』

『いえ、御返事を頂けますならば、と仰せられ、玄關先にてお待ちにござりまする』

『さようか――』

と、こゝで、自ら筆をとつて、明朝、相異なく出頭仕るべく云々の返信を認め、返しました。

さて、その翌日、――秋元但馬守役宅まで出頭いたしますと、但馬守直々のお目通り。

それぐ挨拶が終つて、

『本日、わざくお招きよせ申したといふは餘の儀でもござらぬが、昨日、北町奉行丹波遠江守がまゐつて申すに、一盜賊の取調の節、はしなくも、尾張侯大奥の秘事をもらし居りし由――もつとのあるべきとは存ぜられませぬが、早速、取調の上、あらためて御挨拶申し上げたく存じますればなに卒、同三日の御猶豫を下し置かれたうござりまする』

但馬守は、靜かに語をついで。

『いや、もつとものお言葉。――このことについては、大老始め諸公とも相談いたしたのでござるが、御親藩の尾州侯のことでござれば、ほかくへのきこえも如何――特に、このたびのことはご内分といふ事にして、すまされることゝなつた次第。――ついては、その許の手に依つてしかるべくおはからひ願ひたい』

いはれて、隼人正、――老の目に感涙を浮べて。

『こはありがたき仰せ。――本來なれば、家事不取り締の責をこの身に負はねばなりませぬのに……』

△

も、盜賊の言葉ゆえ、あくまで、これに信を置くといふではないが……尾州侯奥向き出入りの呉服商に伊豆屋與兵衛と申すがござるかな……』

『御意に、ござりまする。……』

『さようか。――その盜賊が申すには、その伊豆屋與兵衛方より尾州侯奥向きへ届る長持中に、歌舞伎役者が忍びこみ居るとのことぢや――』

『えッ！』

成瀬隼人正――あまりのことにあつと驚いたが、流石、附家老のことだけあつて、色に出る驚きを押へ。

『それは、また、意外なことを承はりまする。――奥向きのことは奥向きにしかとした人物もござりますれば、よも、さようのこ

（銀平畫）

九星

水曜　辛丑　先負　成　軫宿　五月　舊四月十八日　三十日

- ●一白の人　獲る所小にして喪ふ所大なる日病怪我注意　甲と乙と乾が吉
- ●二黒の人　調子付く時は損害も多かるべく退守が安全　申と庚と寅が吉
- ●三碧の人　計畫に向ひて穩健なれば願望徐ろに成就す　乙と丙と丁が吉
- ●四緑の人　最期の勝利を博せんには耐忍を覺悟すべし　甲と乙と丁が吉
- ●五黄の人　氣儘の振舞は躓き多く援助も中斷さるべし　申と庚と丑が吉
- ●六白の人取越苦勞は勇氣を挫き好機をも逸す奮起吉　壬と癸と寅が吉
- ●七赤の人　油斷すれば事業攪亂の恐れあり自重すべし　辛と壬と丑が吉
- ●八白の人　物事焦り過ぎて平康を保ち難きに至るべし　庚と丑と寅が吉
- ●九紫の人　諸事熟心なれば曙光の輝き出づる勢となる　甲と巳と丙が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行

×印二三等船客設備船　▲印廣島寄港

（午前十時大連出帆）

船名	出帆日
うすりい丸	五月卅一日
ばいかる丸	六月一日
×志あとる丸	六月三日
扶桑丸	六月四日
はるびん丸	六月五日
亞米利加丸	六月六日
うらる丸	六月八日
▲香港丸	六月九日
×たこま丸	六月十日

切符發賣所　滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間三ヶ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ヶ月）

専屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社

大連支店電話四一三七番　奉天出張所電話四〇八九番　新京出張所電話二二一六番

新京日日新聞
朝刊
五月三十日（水）
第三種郵便物認可
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

わが國家の元勳 東郷元帥全く危篤

畏し、侯爵に陞叙

病床、皇恩に咽び泣く

〔東京國通至急報〕東郷元帥は二十九日午後三時全く危篤に陥つた

危篤を傳へられる東郷元帥に對し、畏き邊りでは廿九日午後零時半、元帥多年の勳功を思召され、特に侯爵に陞叙される旨傳達された（號外再錄）

葡萄酒御下賜

危篤の報天聽に達す

【東京國通】東郷元帥は本日午後三時全く危篤の狀態に陥つたとの趣を聞召され畏き邊りでは葡萄酒一打を御下賜の御沙汰があつた

午前十一時の容態

【東京國通】海軍省は廿九日午後一時卅分東郷元帥の容態を左の如く發表した、廿九日午前十一時容態、葡萄糖液二〇〇瓦を注射、体溫卅七度一分脈搏百卅微弱、時々結滯す呼吸卅四、食事は今朝來アイスクリーム、葛湯極少量

海軍省容態 午前九時發表

【東京國通】海軍省は二十九日午前九時東郷元帥の容態に關し左の如く發表した
休溫三十七度一分、脈搏百二十六にしてやゝ弱く時に結滯あり、呼吸三十二食事アイスクリーム少量

宇垣總督 元氣で東上

【京城國通】政界注目の人宇垣朝鮮總督は廿八日午後九時四十分京城出發東上の途に就いた「二十日もすれば歸つて來るよ」と元氣に出發した

八田副總裁 新京へ

【大連國通】八田滿鐵副總裁は秩父御名代宮殿下御渡滿につき打合せの爲廿九日午後四時廿分發列車にて新京に向つた

鈴木總裁を首班の政黨內閣待望

紛糾する政友會の落ち付く先

【東京國通】政友會の次期政權に對する態度は過日の三縁亭の長老會議でも明かな如く政黨內閣復歸には異存はないが鈴木總裁を首班とする單獨內閣で臨むか又は政黨を基礎とせば誰が

＝首班＝となるも援助して行くかに就ては意見一致しないが、長老會議の主唱者たる山本條太郎氏は政黨聯立を主唱したが山本（條）、川村、芳澤氏等は單獨內閣を主張し、鈴木總裁も單獨內閣論者で、場合に依つては聯立も又已むを得ぬとの態度を執つてゐるが大命降下後如何なる態度に出るか不明である、政黨に基礎を置くものであれは援助すると言ふことは長老會議では意見が出なかつたが缺席した床次、久原、水野氏等は此の意見で此の勢力は無視出來ない、しかし民政黨は聯立內閣說で政友會に利用されぬ樣警戒して居り愈々政權異動の場合、事態は紛糾するものと觀られるが結局三十日の總務會と三十一日の幹部會では鈴木總裁を首班とする政黨內閣を待望するといふ

＝幹部＝の意向を中心とし長老會議の經過報告を聽き之を承認するといふ形式で黨の指導方針を闡明するものと觀られてゐる

滿洲國辭令

任法制局長敍簡任一等　大達茂雄
國務院總務廳長兼法制局長　遠藤柳作
免兼任

任興安總署局官（委任二等）興安總署勸業處勤務を命ず　吉木博

支那の赤字狀況 毎月一千五百萬元

廿五日の中國日報は財政部消息として次の如く報道してゐる

現在中央の稅收は毎月鹽稅關稅の剩餘各五百萬元、相續稅七百萬元其他三百萬元合計二千萬元に達するが、黨部政府及軍部の經費は月額三千五百萬元を要し、毎月の不足額一千五百萬元、孔財政部長は對策に腐心中である

日本飛機襲擊說 笑はれる歐米新聞通信

二十五日のプラウダは二十四日ハアバス通信の米國より出たる情報として、日本の飛行機が沿海州を襲擊したる結果千人の死者を出し、多數の家屋を破壞したとまことしやかに荒唐無稽の報道を爲してゐるが、佛國紙エコー、ド、パリもロンドンよりの米國情報として同樣の報道を掲載し物笑ひとなつてゐる

柑橘類の滿洲進出

旺盛を極む

昨年だけで八十八萬八千梱

滿洲國の建國はあらゆる日本物產の滿蒙進出に

＝便利＝を與へてゐるがそのなかでも柑橘の類は大衆向の嗜好品であるため急激に輸出を增し而も年々すばらしい增加をみせてゐるがこれは治安工作進展に伴ふ搬出の安全、舊政權時代における柑橘輸入稅の改正および南支方面よりの移入が杜絕したのに原因してゐるとみられ、なんとしても日本の柑橘業者はこゝもとほくほくの態である、外交部通商司の調査によると大同二年中に全滿に輸入された數は大連揚七十一萬八千梱、鮮鐵經由の紀州もの十六萬三千梱、安東經由の伊豫ものその他六、七千梱、清津經由四千梱計九十萬梱でこれらのものが最も多く

＝消費＝されてゐるところは奉天、遼陽營口、撫順、四平街、新京、開原、鐵嶺、錦州である

王子彬歸順申出て 樺川全く安定

【ハルビン國通】當地某機關入電に依れば樺川縣方面に於て猛威を逞うし善良なる農民を使嗾松花江航路の滿洲國江防艦隊船舶等を襲擊してゐた匪首王子彬は最近その非を悟り樺川の滿洲國軍に歸順を申込んで來たが、王は謝文東と共に同地にその惡名を轟かしてゐたもので王、謝兩匪首の歸順申込みで同地は全く安定するに至つた

英國の提議する豫備會商參加決定

我國は飽迄愼重な態度を持す

【東京國通】曩に英國政府より海軍豫備會議開催方の提議があつたが、右に對する帝國政府の態度は決定を見るに至つたので廣田外相は二十九日の定例閣議に報告の上諒解を求め、午後一時參內御裁可を仰いだ結果直ちに在ロンドン松平大使に左の如き訓電を發し英國政府に正式回答をなしかくて愈々豫備會商に參加する事となつた

訓令案は大体既報の如く
一、帝國政府は愼重考慮の結果欣然豫備會商に參加するに決定した
一、豫備會商は嚴格に豫備的折衝の形式たる可く、ロンドンに於て外交機關を通じ二國間に自由に會談する方法には全然同感である
一、海軍問題以外の政治問題は會商本來の目的より逸脫するものなるを以てこれを上程討議するは好ましからず
一、豫備會商を通じ我代表の折衝態度はすべて本國政府の同意を要するを以て一々の確たる回答は出先き官憲の自由裁量に賴る事なく留保する事となつてゐるから豫め諒承されたし、云々

右の如く對英回答の內容は極めて抽象的で、豫備會商の日取り、手續き、議題について何等明確なる要求を附さず今後の關係國間の協議に委ねたもので、回答は總て本國政府の請訓を要するとなしたことは帝國政府の愼重なる對會商態度が窺はれる

技術問題の商議用意あり

米の對英回答內容

【ロンドン廿八日發國通】近くロンドンに於て行はるべき海軍々縮豫備交涉は先づ一九三五年の海軍會議開會の手續きに就き協議せんとするものであることは明かである再開の形勢を綜合しその後の發展を見るに海軍問題の內容にも及ぶものと觀られるに至つた米國が廿五日英國に手交した回答も『米國は通常の外交手段を通じて來るべき海軍會議の議事手續を協議せんとする豫備交涉に應ずる用意あり又更に必要とあらば討議を海軍の技術的問題までも擴大する用意あり』と述べてゐる、尙折衝を日英、英米といふが如く二國間に行はれるので何月何日より開催と言ふ如きことなく各國の受諾に伴ひ逐次行はれるものと觀られてゐる

豫備交涉前の各國使臣會見行はん

【東京國通】廿六日松平駐英大使がビンガム駐英米國大使と會見したのは米國の回答の模樣を聽く爲であつたと言はれて居り、何等豫備交涉自體とは關係なきものと信ぜられるが、此の種の會見は今後とも各國大使間に逐次行はれるものと觀られてゐる、フランス政府の回答は廿九日迄のところ外務省には未到着であるが日本政府の回答は一兩日中にロンドンに到着するものと期待されてゐる

奉迎提灯行列順序其他決定

西公園門前を出發

秩父宮殿下御來京奉迎大提灯行列は當日夜八時より盛大に擧行せられる事となつたが參加團体および道順は左の如し

名、室町小學校生徒二百二十名、西廣場小學校六百名、商業學校五百五十名、中學校二百六十名、女學校五百名普通學校七十名、少年團八十名、青年訓練所生七十名補習學校百名、公學校百名在鄉軍人三百五十名一般市民五百名、計三千四百名

集合場所　西公園正門前
集合時間　午後八時
出發時間　午後八時三十分
行列順序　先頭商業學校、音樂隊、少年團、室町小學校西廣場小學校、女學校、普通學校、公學校、中學校、商業學校、青年訓練所生、在鄉軍人、婦人團一般市民救護班

道順　西公園門前より八島通を朝日通に出て大使館前より引返して朝日通より日本橋通を南廣場に出で萬歲を三唱解散總指揮官は在鄉軍人新京分會長四戶友太郎氏である

西鄉從德侯來京

西鄉從德侯爵は三十日午後六時五十分新京着の予定新京にて講演會を開催の筈であると

秩父宮御捧持

皇帝に大勳位菊花大綬章

御妃に勳一等寶冠章

【東京國通】天皇陛下には此の度滿洲國帝政慶祝のため、秩父宮殿下を御名代として御差遣遊ばされるに當り善隣の君主康德皇帝に對し特に大勳位菊花大綬章を、同皇后陛下に勳一等寶冠章を御贈進遊ばされる事となつた右勳章は御名代宮殿下が捧持して御渡滿あらせられる趣きである

江省春耕資金

三百萬圓融通に決定

利息納入擔保提供の者に貸付

黑龍江省公署は昨年度農村救濟の爲め八百萬元の春耕資金を融通したが昨年收穫期よりの特產物價の續暴落は右囯救資金の返還不能の狀態を招來し昨年にも增した

＝重壓＝が農村窮狀に加へられるに至つた、本年の滿洲國政府の方針としては昨年度融通額の三分の一以上返還せるものに對し資金融通を決定してゐたが、各縣の窮狀は三分の一返還の能力は絕對に存しないと判明、省公署は中央と諮り返還せざる者に對しても利息を納入又は擔保提供可能の者に限り省下全縣に三百萬圓以內を融通することに決定、四月一日より中央銀行チチハル分行は各縣支行を通して右資金の配給を開始、近く完了を見る筈である、右本年度融通三百萬圓は利子月七厘、明年度以降は絕對に貸增しせざることを條件としてゐる、斯くて右融通により疲弊に喘ぐ農民は息を吹きかへすべく各方面より現實に適應する處置として

＝稱讚＝されてゐるが之等王道の恩澤に狎れて支拂能力ありながら故意に不拂を極め込む者も相當あり嚴重取締つてゐる、然し乍ら本年の收穫期に重ねられた二年分の拂ひが可能であるかは今のところ困難と目されてゐる

海軍々縮會議

明年の二、三月頃か

豫備會商も案外早く行はれん

【東京國通】明年の海軍會議開催の日取、會議地等は豫備會商の結果に俟たねば決定を見ないが英米方面より外務省に入つた情報を綜合するに、明年早々即ち二月乃至三月頃開催し度き意向の如くである、斯く觀ずれば豫備會商も案外早く行はれるに非ずやと觀られてゐる

三月末の國庫現計

自然增收顯著

租稅、印稅、官業收入に

【東京國通】大藏省調查三月末國庫現在（單位千圓）
△歲入
經常部　九八七、四七三
臨時部　七八四、一四七
△歲出
經常部　一、〇八三、三一二
臨時部　七二〇、一〇五

經常部の歲入中租稅は前年に比し三千九百萬圓、印紙收入五百萬圓、官業收入四千六百萬圓が增收しインフレに依る財界好轉を物語つて居る、臨時部の增加は公債の增發に依るものである

人事往來

▲上山高等副官（第〇〇〇團）二十九日午前六時三十分發吉林へ
▲秋月少將（予備役）二十九日午前九時發大連へ
▲草間秀雄氏（採金會社々長）同上
▲本田忠男氏（關東廳高等課長）同上

馬頭石、大馬溝 匪賊大掃蕩

【ハルビン國通】馬頭石、大馬溝附近匪賊掃蕩中の饒浦部隊は廿六日目下同地方掃匪中の〇〇〇〇隊と合し一大掃蕩を開始した

安圖縣大甸子

討伐隊匪賊と遭遇

署長以下死者重傷者を出す

【龍井國通】去る五月十六日午後二時頃匪賊討伐のため安圖縣警務局第六區警察署長孫九齡氏は部下約百名を率ひて出動したが同縣大甸子地方に於て匪首湯廣智部隊約百五十名と遭遇、交戰四時間にして警察側は形勢不利に陷り退却したがこの戰鬪に於て孫署長は御部に銃創を受け部下劉白春は即死、賊即死一名、重傷一名を出した

偶語

わが國民の世界的誇り、生ける國寶ともいふべき提督東郷元帥病む、國民ひとしくその平癒を祈り、遠くわが新京でも祈願者が神社に日々詰めかけるなど、元帥の德が偲ばれて殊更にゆかしいものがある▼過ぐる日本海々戰に沈勇以てこれに當り、空前絕後の戰捷を博して一躍弧島日本の名を世界に勇躍せしめたその功績は日本國民として何人も忘れることが出來ない▼元帥は國家の元勳であると同時に、その終生を飽くまで武人として高齡今日に至るまで、わが海軍の總帥であつたことは、特に吾等が最大の敬意を表する所以である▼冀くば全國民の切なる祈願が効あつて、一刻も早く御全快のほどを吾等は神かけて念じたい▼赤帽問題もきのふ漸く正式に圓滿解決した、この上どう發展しやうかと案ぜられたのが、急轉直下手打ちが出來たのは何より芽出度い▼これで双方文句なく、今までのゴタゴタなど一切忘れて朗かに解消すべきだ、体聯側としては最初の要求に比し多少氣拔けの觀はないでもないが、そんな愚痴はこの際一切禁物だ▼たゞ、しかしその覺書にもあるやうに、今回の寄附金はただ本年度限りのもので、決して將來を約束したものでないことを、お互にはつきりして置く必要があつたわけだ▼とまれ、圓滿解決はよかつたが、なほ他にも同樣な向きがないでもない、その人々も今度の問題で多少は考へさせられたことゝ思ふ

讀者の聲

投稿歡迎

中傷はとらず

紙上匿名は可なるも一應住所氏名を御知らせを乞ふ

讀者の聲にはお答へを

新京住人

御社の讀者の聲は誠に結構な事です、今一歩進めて、當局に考慮を乞ふ事であるなれば是非其の當局者の御意見が承り度き事と存ずる、故に記者諸君には御足勞ではあるが當局者の意見を聞き答欄を增し紙上に發表せられん事を切に御願ひ致す次第です、此の企はより一般の讀者に對する御社のサービスであり又一面に世論を起し新化の一端ともなり得る事と思ふ故に切に御社に希望する次第です（記者出來る限り御希望に添ひます）

西公園へ理想的公衆便所を急設せよ

富久田生

半ケ年の蟄居生活から愈々解放されて屋外を戀ひ慕ふ頃となつて來た、是といふ娛樂機關も無く又行くべき郊外もない新京では西公園が唯一の遊園地として老ひも若きも繁青葉の下に集ひ一家打揃ひ又は友人相和してビールの泡に醉ひ雜當に舌鼓を鳴らし一日を樂しむのである園內も植樹噴水の設備、池の修理等で日一日と面目を一新されるのは洵に喜ばしい事であるが最も衛生を重んずべき民衆の遊園地に理想的公衆便所の設備がないのは丁度頭隱して尻隱さぬ樣で甚だ遺憾に思ふ、尤も公衆便所が二三大道の側に設備はされてはあるが其の便所たるや百姓屋の便所にも劣る不潔さで迚も中に這入れたものではない、從つて公園內は到る處放糞散尿の狀態で新京の西公園ならずば見られぬ醜態である、それのみならず樂も清潔でなければならぬ某喫茶店の横には穴を掘つて便所代りにし其の中から蛆が西散してゐる樣を見ては切角の公園への行樂も悪疫の媒介所にあるかの樣な氣がして身の毛が竦つて來る、右の樣な次第で噴水や池よりボートを浮べるより先づ理想的公衆便所を急設し衛生設備を充分にせらるゝ樣當局者へ御願ひする次第である

天氣	南の風薄曇り
氣溫	最高 二十七度
	最低 十三度
日出	前 四時〇一分
日入	後 七時十二分
月出	前
月入	後 九時十二分
滿潮	前 四時三十二分
	後
干潮	前
	後

初夏・輝くスポーツ

慶祝大典大運動會

十日全滿の强豪一堂に會同

プロ其他も決定

滿洲國体育協會では同會年中行事として建國記念大運動會を毎年擧行してゐるが殊に今年は建國の礎、永へに固き御大典を謳歌して、慶祝大典大運動會を大々的に行ふこととなつた、奉天、ハルビン、吉林、熱河、黑龍江省、興安省の各支部は來る三日、新京支部では十日、西公園大グランドで盛大に催されることとなつた、新京支部では去る二十三日國務院總務廳會議室で、日滿各官公署關係者、日滿各學校長等百二十余名からなる總委員會を開催、プログラムその他に就いて協議の結果大体次のやうに決定した

慶祝大典新京大運動會順序

一、參加者並役員集合
二、國旗（日滿）掲揚並國歌合唱（一同起立脱帽）
三、慶祝大典運動會歌合唱（滿語）
四、開會之辭　會長
五、訓辭　總裁
六、役員着席
七、旗持体操　日滿小學校合同
八、舞踊　市立女子中學校
九、舞踊　西廣場小學校
一〇、亞鈴徒手混合体操　特別市學校男子合同
一一、劍道野試合　新京商業學校
一二、綱引　頭道溝初等全學校
一三、綱引　一般來賓　大會役員
一四、舞踊　吉長小學校
一五、舞踊　室町小學校
一六、棒倒　省立第二師範學校
一七、籠球（市立第一小學校）（自强小學校）
一八、騎馬戰　頭道溝初等全學校
一九、提灯競技　新京市各學校
二〇、借物競走　學校教職員
二一、棒引　新京中學校
二二、滿洲國武技
二三、化裝遊行　特別市全學校
二四、舞踊　新京高等女學校
二五、旗持体操（新京高等女學校特別市女子中學校合同）
二六、參加者並役員集合
二七、賞品授與
二八、國旗降納並國歌合唱
二九、閉會之辭　會長
三〇、慶祝大典運動會歌合唱
三一、萬歳

なほ當日は早朝、市の上空から大會の宣傳ビラを撒き午後六時からは城內三道街龍井電影院で當日撮映する實況映畫その他の映畫會を、四馬路新京戲院で記念講演會を催すこととなつてゐる、なほ當日の參加學校數は滿洲側から初等學校二十八校、中等學校五校日本側は初等學校四校、中等學校三校で、今からその盛況が豫想されてゐる、同會總裁は鄭國務總理、會長は金特別市長、副會長に荒木地方事務所長、段長春縣長が推されてゐる

梅田指導官戰死

【チチハル國通】廿七日午後一時頃北安鎭の東北方六十五支里の地點に匪首鳳好の率ゐる約八十名より成る騎馬匪が現れたので、北安鎭より日滿兩軍出動し協力して包圍攻擊し匪團に多大の損害を與へて擊退したが右戰闘に於て龍鎭縣指導官梅田鴉作（三七）氏外通譯一名は匪彈に當つて壯烈なる戰死を遂げ、滿洲國兵二名も負傷した

戰死した梅田指導官は熊本縣天草郡楠甫村の出身で昭和七年の臺灣の霧社事件に於て偉勳あり勳八等瑞寶章を授けられてゐる人である

新京オーケストラ設立か……委員も決定

帝都新京では催物或は歡迎等月毎年毎に其數を增し催物オンパレードの如き感あるにも拘らず音樂隊一つ組織されて居ない事は首都新京として遺憾の至りなりとて市政公署發起して金壁東市長自ら會長となり總務橋口勇九郎氏を副會長となし新京一大オーケストラを設立せんと安達郁太郎、益田賞辻平八郎、吉本滿重、內田清三郎、中江勇雄、の各氏設立委員に擧げられ運動に取り掛つてゐるが昨廿八日午後二時地方事務所を訪れ何分の御援助を乞ふ旨懇談したるところ地方事務所としては此際援助とか壓援とか二線に立つて應援するよりも寧ろ市政公署と共に第一線上に立ち附屬地及城內を一丸とした大新京一大オーケストラ設立の實現に向つて努力したい旨明示したので近く地方事務所及び市政公署を主體とした新京オーケストラ設立委員が改任さるべく樂器購入費其他設立準備金二千圓は双方より折半出資され荒木地方事務所々長金壁東市長を顧問とし會長には他の方面より物色する事になるらしいと

新地事渉外係長に渭脇氏が昇格

いよ〳〵正式に發表さる

既報、新京地方事務所渉外係長は本月二十五日附待命、その後任として情報主任渭脇巖氏が同日附渉外係長を命ぜられ、二十八日滿鐵社報を以て正式發令された、渭脇新係長は大正十五年東亞同文書院出身、鹿兒島縣生れ當年三十歳の青年である、氏は同文書院卒業と同時に滿鐵入社、鐵道關係に携はつたが昭和二年滿二ケ年間の豫定で華語研究のため北京留學を命ぜられ、昭和七年四月滿鐵上海事務所から長春地方事務所に來任し今日に至る、年齡こそ若いがなかなかの支那通で、上海事變當時、上海事務所にあつて各種の情報關係並に支那事情調査などに活躍して、その手腕を認められ滿洲國成立とゝもに昭和七年四月、滿洲國首都新京の情報主任として選ばれたもの、爾來籠谷係長を扶け日夜獻身的努力をつゞけ滿鐵に貢獻したが、その間參謀部第四課囑託として滿洲事情その他、飜譯情報關係事務にも携はり軍に貢獻したところも少くなかつた、蓋し今日の昇進は當然のことゝされてゐる

齲齒豫防デーに新京齒科醫師會の催し

來る六月四日は全國齲齒豫防デーに當るので新京齒科醫師會では消防隊自動車で宣傳ビラを撒くほか、當日は市內十七軒の同會々員開業醫で無料口腔健康診査を行ふこととなつた

中間驛訪問の滿鐵慰安列車

一日に大連を出發

滿鐵中間驛々員、社員の鶴首せる昭和九年度春季慰安車は來る六月一日から大連入船驛發左記により奉天、新京、安東、奉天、大連入船の順に約五十日間に亘つて行はれる

大連入船六月一日發、新京十四日着、一泊折返へし奉天十八日着、安東七月一日着、折返へし奉天七月三日着、遼陽、大石橋、瓦房店經由大連へ七月十八日到着

なほ新京管內開催地は次の通り

中固六月五日、馬仲河六日泉頭七日、恒勾子八日、楊木林九日、郭家店十日、大楡樹十一日、陶家屯十二日孟家屯十三日

なほ慰安列車編成は次の通り娛樂車寢台車食堂車各一輛分配車二輛合計五輛

總領事館構內居住者の健康診斷

新京總領事館では二十九日構內居住者の健康診斷を行つた

淺岡信夫重傷

不良と渡り合ひ

【東京國通】元日活俳優淺岡信夫は廿八日夜新橋ダンスホールで顔の張合ひから繩張り五人の不良壯漢と渡り合ひ日本刀で滅多斬りされ瀕死の重傷を負つた

凱旋兵歸還

二十九日午後七時着列車で吉林から凱旋兵〇〇〇名來京、同十時發列車で內地歸還の途に上つた

全撫順來征けふ愈よ對戰

日滿兩軍と西公園で

秩父宮殿下の御來京を控へ、全撫順野球チームは二十九日夜來京、大丸新館に宿泊のはずだが、三十日午後二時から西公園で滿洲國軍と、引續き同四時から全新京軍と對戰、同夜歸還の豫定である

東製藥公濟號側より一萬三千圓を支出縣當局より一萬圓の補助を得て高さ五尺巾二十五尺延長八十邦里に亙る大防水堤を築く事に決定本年降雨期までに完了さすべく目下急工事中である

大典記念運動會

六月三日通遼縣に於ける大典記念日滿聯合大運動會は午前十時より驛前廣場に於て盛大に擧行さると

長春縣下の十校聯合慶祝大典大運動會

長春縣下第三區各小學校では來る六月二日小合隆小學校で十校聯合慶祝大典運動會を催すこととなつた、この運動會は各校に運動會經費として全く豫算がなく、兒童はそのため運動會も出來なかつたが、各校訓導が同情して資金五十圓を據出し合ひ氣の毒な兒童のために開催する運ひとなつたものである、なほ協和會新京辦事處ではこの會のため優勝旗を寄贈した

故時武伍長葬儀新京高女で

步兵第〇〇隊〇〇隊陸軍步兵伍長時武正一氏は豫て新京衞戍病院に入院加療中であつたが、二十九日午前二時十分遂に逝去した、なほ葬儀は佛式で三十一日午後三時から新京高等女學校講堂で催される

電々會社內で野球戰

電々會社新京中央電話局、同工務所、同無線工務所、同放送局は今回合同して野球部を設けこれが發會式をかねて內部の對抗試合を二十九日午後四時から公學堂運動場で擧行した

古代美術品、記念物の保存に着手か

文教部豫算通過次第乘出す

滿洲は古くから各種の民族が錯綜して內亂をくりかへし從つてこれら人種によつてのこされた時代々々の古美術又は歷史上國寶として或ひは記念物として保存すべきものが多數あり、文教部では昨年來各縣に命じこれが調査中であつたが、この程全部報告を綜つたので近く整理を行ひ、明年度に新規要求として二十二萬三千余圓が要求してあるので豫算が通過次第緊急を要するものから保存に着手することゝなつてゐる

大防水堤を築造通遼

大鄭線錢家店北方を流る遼河支流は毎年降雨期に氾濫し同所在の天照園農場、公濟號農場、極東製藥會社農場、滿鐵試作場並に附近農民の農作物被害は毎年相當甚大なるにかんがみ、目下降雨期を前に控へこれが對策を考究中の處通遼縣當局との接衝も終り極

小包郵便物の保管料を徵收

規則改正で六月一日から實施

今回日滿郵便規則及滿洲內郵便規則が改正せられ、內地、朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島及當管內より到着する小包郵便物の中留置、代金引換又は稅付のものに對しては、來る六月一日より外國小包郵便物と同樣に到着郵便局所で、保管を開始した日より起算し、七日を經過して交付したものに付ては、此の期間を經過した一日毎に郵便物一箇に付金五錢の保管料を、郵便物交付の際受取人より申受けることゝなつた、此の保管料は內地朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島又は當管內に郵便物を轉送又は還付する場合も、之を取消さずして受取人又は差出人より徵收するもので此の改正は

六月一日より五月中に到着したものも同樣施行されるが、實際に保管料を徵收するのは同日より七日を經過した、六月八日となるわけであるから成るべく早目に、受取る樣新京郵便局では希望してゐる

島軍曹以下七十二名晴れの凱旋

轉戰又轉戰北滿護りの任にあつた第〇〇〇隊の島軍曹以下七十二名は二十九日午後四時着列車で新京に凱旋、休憩後同日午後十時發列車で內地に向け凱旋した

賑ふ大屯娘々祭

幸運をめぐる

頭彩當籤者が二人出た？

吉林の彩票ナンセンス

全滿各地方に設置される救療機關基金として財政部當局の手により發行されてゐる福民獎券は其趣旨を理解する全滿民衆の間に歡迎され、非常な人氣で、既に熱河方面から遠くハイラル、滿洲里地方まで進出し最も全滿限なく行亘つてゐる模樣である、ところで、去る十四日開彩の第二回頭彩以下

＝當籤＝の福運者は誰々かと其後興味の中心となつてゐたところ、頭彩四六一四〇番甲組は吉林に當籤して居り、此福運に絡まる獎券僞造の問題さへ起り、一時社會の注目を惹起したナンセンス事件がある、即ちこの頭彩獎券は吉林の代賣人景合會の發賣で三人の所有に分割され、其中一條は中央銀行吉林分行守衛吳某（二七）他の一條は吉林警察巡警劉某（三〇）殘りの三條は吉林省公署秘書處尙某（四〇）が所有し吳、劉の兩君は各二千圓宛、尙某君は六千圓の福運に惠まれたが

＝深慮＝な尙君は此の當籤を一旦前記代賣所に通報したものゝ此折角の福運に無心や强請が迫るのを恐れて、密かに得獎金の所有を賣捌店の某番頭に依賴したゝめ、此三條六千圓の當籤者が二人存在するといふ事になり、獎券僞造の疑ひが起り代賣所景合會で俄然問題となり、財政部當局に於ても重大視して一時非常なセンセイションをまき起したが、取調べの結果右眞相判明して一場のナンセンスに終つた、尙ほ一條分二千圓の當籤者、中銀分行守衛吳君は家族六人を擁し月給僅かに十五圓で、非常な勤勉家であるが、此天惠の福運に從來の借金五百圓をきれいに返濟し殘金千五百圓は中銀に預金して益々職務に勵んでゐる、因に右頭彩乙組は大連內に當籤せるも得獎者未だ不明、二彩三千圓二七二四一番甲組は撫順にて販賣せられてゐるがこの當籤者も未だ不明、同乙組は奉天城內王寶廷の代賣で當籤者は同地城內の高占魁君（三〇）三彩一千圓八〇五一番乙組は

＝琿春＝の掛私隊員某君に當籤してゐる

斯くて福民獎券は全滿各地とも賣行頗る良好だが、吉林方面では特に人氣旺盛で洋車夫や子供まで此の獎券の存在を周知してゐる

涙はあらた！

鏡泊學園遭難者遺骨を迎へしめやかなお通夜

世人の同情をうけた自衞移民の犧牲者鏡泊學園總務山田悌一氏外七名の遺骨を乘せた列車は廿九日午後四時夕陽のさしたホームに滑り込んだ、ホームには鏡泊學園新京出張所宗村所長、上村學務司長、工藤警衞官、筑紫參議、高山署長を始め關東軍、在鄉軍人、聯合婦人、小學兒童一般有志多數それぞれ弔旗を立て出迎へた、遺骨は一旦一、二等待合室に安置し、井上神官によつて拔式、慰靈祭が行はれ四時四十分祝町太子堂に安置され、しめやかなお通夜が行はれた

まやかし藥を賣る男

新京署で搜査

二十八日午後三時ごろ市內東一條通四十一番地新原安郞氏方へ四十歳前後の內地人男が訪れ、主人不在中を奇貨とし印稅のない强壯劑二包を十五圓で强制的に賣付たが屆出に接し新京署で搜査中である

美人座で無錢飲食

二十八日午後一時ごろ市內東一條通カフエー美人座へ黑サージの背廣を着した二十二歳前後の內地人が來たり三圓二十錢を飲食し、代金を請求すると驛で支拂ふからと稱し同家コック二名を連れ驛三等待合で姿を晦し逃走した

正金支店員一同美擧

その後における、忠靈塔建設費寄附者は二十九日橫濱正金銀行新京支店員一同として金四十八圓九十錢の寄託あり、また市內三笠町西山運送店主西山善吉氏から同じく金二十圓の寄託があつた

伊通討匪軍に應援隊出動

伊通縣內を橫行しつゝある馬旅、民國、赤軍よりなれる合匪約六百名を討伐に向つた南嶺騎兵第一旅第三團南葉指揮官の率ゆる百名の軍隊は討伐不可能となり、應援二百名を

娘々祭は愉し協和會の映畫公開

いろ〳〵の催して賑ふ大屯

大屯阜豐山の娘々祭は今人氣の焦點となつてゐるが、滿洲國協和會ではこれを好機に二十八日から五日間毎夕大屯驛前廣場で講演と映畫の會を催してゐる、講演者は中央事務局から派遣、「王道樂土建設について」「帝政實施と國民の覺悟」等の演題の下に一般民衆の啓蒙に努め、映畫は「御大典記念」「協和會の活動狀況」「日本紹介」等の映畫に慢畫を添へてあつて參拜者多數を喜ばせてゐる、尙廿八九兩日は二千人以上の群集が詰めかけ盛會を呈した

生水濾過器出現

「大いに生水は飲め」と一部には叫ばれてゐるが生水も完全な水でなければ矢張り身体には害を及ぼすが、完全な濾過器で濾過した水でないと安心して飲めないことになる、ところが今度新京にも京都松風工業會社が多年苦心研究の結果完成した純國產濾過器がお目見えした、吉野町二丁目一番地東亞樂房で販賣してゐる定價取付費とも大三十圓小二十三圓である

居住消息

▲窪田直人氏（長野縣）中央通り二十二番地へ
▲田中泰廣氏（佐賀縣）旅順から日本橋通り六十三番地フランスホテルへ
▲森田榮氏（愛媛縣）和泉町二町目三番地ノ四へ
▲村上豐八氏（宮城縣）和泉町二丁目三十二番地へ
▲山本萬治郞氏（京都府）上海から錦町錦ビル三十號へ
▲澄田宇太郎氏（長崎縣）大連から東三條通り三十八番地へ
▲深津亮一氏（東京府）三笠町四丁目十七番地弘電社へ
▲粉川幸太郎氏（東京府）同上へ
▲石塚清氏（新潟縣）同上へ
▲石川新作氏（山口縣）三笠町四丁目三番地へ
▲筒井彌一氏（東京府）中央通り四十一番地榊谷組へ
▲本多秀壽氏（長崎縣）三笠町三丁目十三番地仲谷方へ
▲眞邊三二氏（大分縣）奉天から白菊町五丁目一番地へ
▲松村省五氏（千葉縣）錦町四丁目二十三番地へ
▲濱崎寅藏氏（秋田縣）中央通り十七番地林田方へ
▲澄田宇太郎氏（長崎縣）大連から東三條通り三十八番地へ
▲佐藤好里氏（山梨縣）入船町二丁目二十番地曙舘一號室へ
▲正木吉宗氏（千葉縣）大連から中央通り四十一番地榊谷組へ
▲河津六郎氏（福岡縣）日本橋通り四十八番地へ
▲金子文藏氏（宮城縣）孟家屯から益濟寮四十號へ

轉居

▲鎌田市之丈氏　住吉町一丁目十八番地から西公園大林組現場事務所へ
▲吉田宗作氏　露月町三丁目六十二號ノ三から延吉憲兵隊本部へ
▲和田要氏　曙町四丁目十三番地から朝日通り三十九番地ノ二本田方へ
▲土屋清八氏　羽衣町三丁目十三號ノ四佐藤方から四平街へ
▲金田武夫氏〇大和通り五十三番地から錦町四丁目五番地ノ二阪野方へ

忠靈塔寄附者（四二）

新京日日新聞社扱

▽四十八圓九十錢橫濱正金銀行新京支店一同▽二十圓市內三笠町三丁目西山善吉、小計六十八圓九十錢累計五千百八十一圓七十三錢

新京區公示第八號
野犬驅除ニ關シ左記の通新京警察署長ヨリ告示アリタルニ付公示ス
昭和九年五月二十八日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

新京警察署告示第六號
六月一日、二日新京附屬地ニ於テ野犬驅除ヲ行フニ付飼犬ニハ飼主ヲ知リ得ヘキ頸環若クハ牌子ヲ附シ置カルヘシ
昭和九年五月二十六日
新京警察署長　高山勝司

譯文
新京警察署告示第六號
出告示諭事照得現訂自六月一日起同月二日止在新京附屬地一帶地域驅除狗爲此示仰凡飼養家狗人等一体知悉項先得其飼主之姓名寫木牌環牌子等拘套在狗　爲要
昭和九年五月二十六日
新京警察署長　高山勝司

秩父宮殿下
新京神社に御成りの際當地在住者中七拾歳以上の邦人は同社境內に於て御奉迎方許可ありたるに就ては該當者は六月一日迄に地方事務所地方係まで御申出相成り指示を受けられ度し
五月二十九日
新京總領事館
新京地方事務所

海軍記念日所感

駐滿海軍部司令官　小林省三郎

對馬沖に露國「バルチック」艦隊を撃滅してより既に廿九年茲に我々海軍軍人否日本全國民の忘れ得ぬ海軍記念日を迎え感慨に堪えぬものがある當時滿洲の地に於ては旅順既に落ち三月十日奉天の大會戰に脆くも露の大軍は一敗地に塗れ皇軍は破竹の勢にて進撃中なりしも露軍の後方連絡線たる東支鐵道乃至『シベリヤ』鐵道を遮斷し得なかつた爲眞に徹底的打撃を與ふるに至らず然かも我が陸軍は國內の豫後備兵は殆んど動員し盡され余力以て果して長驅「バイカル」に至り得るや或は更に敵に再び立つ能はざる打撃を與へ得るやは豫測を許さなかつたのであるが此の時に於て露國は其の全海軍を提げて東洋に回航し之に最後の勝敗を賭けんとして居り我國としては滿洲出征軍の後方連絡たる日本海、支那海の交通路を脅かれる虞があつた、蓋し此の極東海上の制海權を失はんか忽ちにして彼我地を換え我か在滿數十萬の野戰軍を見殺にするに至るべき眞に國運の岐れんとする重大時機であつたのである、思ひ起す丁度二十九年前●今日五月二十七日と廿八日の兩日に亘り我が帝國海軍は其の全力を擧げて露の「バルチック」艦隊を對馬海峽に邀撃潰滅し眞に前古未曾有の勝利を收め完全に極東の海上を制し露國をして全く戰意を放棄せしめたのである

思ふに當時宣戰の詔勅一度下るや極東洋上、滿洲の野に皇軍の嚮ふ所敵するものなく遂に之を驅逐潰滅して彼の戰果を收め得たるは一に皇祖皇宗の御加護、至尊の御稜威の致す所なりと雖も亦以て陸海協同文武一體、擧國一致の結晶の賜物に外ならぬと確信するのである、誠に臥薪嘗膽十年以て上下を貫いた一致の精神であつたのである

由來我が國は終始一貫東洋平和維持を國是として居り明治維新以來三大戰役の犧牲を拂つたのも實に之に基くもので敢えて國運を賭して惜しまなかつたのである、就中日露戰役の犧牲は大なるものであつたが擧國一致の精神を以てよく國難を突破し得、一躍一等國として認めらるるに至つたのである

爾來二十有六年一昨年滿洲事變勃發に至る迄は御承知の如く國運の進展著しきものがあつたとは言へ徒らに戰勝に醉ふて日露戰役の由つて來つた所以の大精神を閑却し戰前の國民の緊張した氣分も何時しか忘れられ畏くも特に戊申詔書の煥發を見更に世界大戰後は國際協調の氣運に徒らに眩惑され華府會議を境として爾後自主的立場より顚落して一歩々々退嬰自屈に甘んずるに至り而かも一般に豪も怪しむものがなかつたのである、誠に今にして考ふれば解し兼ねる時の勢であつたのである、然し乍ら天地正大の氣は遂に鬱屈するを許さざるものがある、物の窮はまる所本年の東洋平和維持の大精神に歸らざるを得なかつたのである、果然滿洲事變を契機として我日本は東洋平和維持の國是を眞向に國運の一大革新、一大躍進に向つて敢然立つたのである、この姿こそ正に現在の非常時でなくて何であろうか、形こそ異なるが日露戰爭も今日の非常時も共に東洋平和維持を精神とする我が國是の遂行に外ならぬのである、三千萬の民衆を救ひ王道樂土滿洲國の建國に協力するものも正に茲に出づるのである、此の確たる認識、磐石の如き信念なくして何をかなし得ようか今日の非常時は徒らに右顧左眄外國の壓迫を維れ憂ふる秋に非ず千萬人と雖も我往かん敢然直往國運の一大飛躍を試みるべき非常時である而も既に其の飛躍の「スタート」は切られたのである、擧國一致以て國難突破、國運の一大飛躍に突進すべきである　斯る國民的意氣の前には一九三五六年及以後の危機も立ち所に解消すべきは斷じて疑はぬ所である

今や日本が國際聯盟の脱退をも敢えて辭せずして單獨承認した此の滿洲帝國も國礎既に定まり着々健實なる發展の道程を辿り東洋平和の爲日滿合作の實を擧げつつあるは大いに欣快とする所である、日本の自主的態度の不變なるべきことと滿洲國の健實なる進歩發展の實績とは以て今後東亞民族の嚮ふべき所乃ち日本の懷抱する東亞平和維持の大精神を實證確認せしむる大なる試練となるのである

寔くは今日の非常時を突破するは即ち我か國本來の使命を達成する所以なるを自覺し擧國一致更に其の覺悟を堅くし之に邁進したい、之即ち日露戰役終局の目的に合致するものにして亦之に殪れたる先輩の血を無爲ならしめざるものと確信する

今日此の滿洲の地に在つて海軍記念日を迎ふるに當り特に其の感を深くするものである（記事輻輳のため掲載が遅れました）

六月一日を初日に　すわらじ劇團　長春座で五日間開演

新京光の友會主催で六月一日から五日まで問題のすわらじ劇園が開演する、例の一燈園の人々であるため、やゝもすると一燈園臭い劇だらうと思はれてゐるが決してそんな譯ではなく指導の倉橋仙太郎以下一座悉くが、舞台外では一求道者である黑木綿の粗衣を纏ひあらゆる奉仕に一身を捧げてゐるが劇は純粹のもので而かも卑猥なものなどは避けてゐる親子兄弟揃つて見物するに差支へのないものばかりが選ばれてゐるので到る處好評を博してゐる、一座の顔觸れは

伊野肇　速水容之助
服部誠　大森茂次
大久良吉加　多家市次郎
橘英二郎　髙井忠雄
髙頭零吉　髙木清秀
玉井多至　中山千秋
永井俊　村戸數登
浦埜誠一郎　倉橋仙太郎
栗林繁太郎　山本仁吉
丸茂一郎　松井安夫
福原鶴芳郎　阿古江非文
坂本文郎　木村勝太郎
木下卓也　須川小四郎
川井絹子　那智壽美子
仲小路園子　安田雪子
實川延子

讃援會、井上竹水、新美賢平、木村虎之助、末廣木魚一行は來京すると南嶺、寛城子戰の戰死者の慰靈祭を行つたり、衛戍病院に傷病將士を慰問したり奉仕の仕事をつゞけることゝなつてゐる

因に一行の得意の藝題は如水軒と家來一幕三場、進軍喇叭二幕、義士の怪物問新六三幕五場、喜劇還る增さん一幕二場、筋かひ道中一幕二場、愛のゴーストップ三幕四場、喜劇劍客商賣一幕など澤山ある

本社特選　名士圍碁對局（二十六）

互先先番
元、山梨縣知事、代議士　加藤平四郎
政友會三多摩重鎭、聯珠四段　小島幸藏

○九八　を九
●九九　を四
○百　る四
●百一　わ五
○百二　わ六
●百三　ち二
○百四　と二
●百五　と一
○百六　ほ二
●百七　ほ一
○百八　り三
●百九　へ十八
○百十　ろ十五
●百十一　ろ十四
○百十二　い十五
●百十三　と十二

本日○九八より●百十三まで

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

觀戰記

雲玉山人

黑（先手）は七七以下九七迄で左下部は完全に自軍の壁勢を以て固めてしまつた。大きい戰果であり、絶大の收穫であつた。然し、白の潜在力は、黑の陣中にヒヨコりヒヨコり頭を擡げつゝしきりに千載の一遇を狙つてゐる故、黑（先手）としても一々樂ではないのです。目下の局勢は先手大いに有利であるが、白には未だ上部右中央寄りが殘つてゐる。果して結果はどうなるか？

初夏の　スッキリとした　湯上り化粧　花柳壽美さんは語る

△…暑くなりますと湯上り後すぐお化粧しますと却つて汗で白粉がのひないことがよくあります

△…湯上り後、先づ風を入れてほとぼりが自然におさまつて肌が落ち付いてから乾いたガーゼで小鼻から額の生際などにういてゐる脂をふき取ります

△…オイデルミンを顔から頸につけてそれが乾かぬうちに水白粉ではきます、水白粉はモニーの黄色に白を交ぜてうすくしたものを二回程刷毛ではき、そのあとを牡丹刷毛でならします、未だそのしめりのあるうちにパフに粉をふくませて上からおさへるやうにしてのばしてゆきます、粉白粉は黄に桃色をまぜ合せて使つてゐます

△…眉は白毛がこいのでガーゼでふいておくだけにしてゐます、紅はタンヂーのくすんだ色を使つてゐます

△…お化粧のあとはぬれたガーゼでまぶた、生え際などに白粉がついてゐないやうに合せ鏡をしてゐます

△…どんなにお化粧が念入りに出來てゐても頸足の生へ際や耳の後に白粉が付いてゐるのは如何にも野暮に見へるものです

ラヂオ欄

三十日（水曜）新京

午前一一時五分　講演（全日滿中繼）奉天より　娘々祭に就て　滿洲醫科大學助教授　辻忠治
同　一一時四〇分　ニュース
同　一一時五九分　時報（日滿兩語）
午後〇時五分　滿洲音樂レコード（奉天より日滿兩語）經濟市況
同　一時〇分　演藝（滿語）
同　三時二〇分　ニュース（日滿兩語）
同　三時三〇分　經濟市況（奉天より日滿兩語）
同　四時三〇分　ニュース（滿語）
同　四時四〇分　ニュース（鮮語）
同　四時五〇分　ニュース（英語）
同　五時〇分　子供の時間（奉天ヨリ）
同　五時三〇分　氣象豫報　番組豫告（滿語）
同　六時〇分　ニュース（東京ヨリ）
同　六時二〇分　滿語講座　講師　高宮盛逸
同　六時四〇分　日語講座　同　植松金枝
同　七時〇分　舞台劇（東京ヨリ）　室町御所　岡本綺堂作　場景　淀川堤の場　出演　前進座
同・七時四五分　小唄（東京ヨリ）　唄　堀小重
同　八時〇分　長唄（東京ヨリ）　三味線　堀小三喜
四季の山姥　唄　吉住小桃次　三味線　稀音家和三次郎　同　吉住小五郎　笛　望月長一郎　小鼓　吉住小平次　同　望月左吉　三味線　稀音家和三郎　大鼓　望月長四郎　同　稀音家四郎助　太鼓　望月長十郎
同　八時三〇分　時報
同・八時四五分　ニュース（東京より）　ニュース　氣象豫報、番組豫告
同　九時〇分　演藝（滿語）
引續　ニュース（滿語）

ラヂオの待用は東京無線（電四九二〇番）へ

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	六〇	氷鯛	三五
チヌ鯛	三四	連子	三四
甘鯛	二〇	ニベ	二二
メジ	二六	ヒラス	三〇
サハラ	三四	スヽキ	二六
サバ	二二	アジ	一八
星カレ	二〇	ヒラメ	一七
コチ	一二	キス	四〇
カナガシラ	二六	トビウオ	二六
ウナギ	一〇〇	ムツ	一七
アコウ	五六	サヨリ	三五
クジラ	三〇	フカ	一〇
タコ	四五	甲イカ	二七
氷イカ	四五	イセエビ	一〇〇
車エビ	二六	カニ	一六
ハモ	二六	アナゴ	四三
ナマコ	一五	アワビ	九〇
カマキ	三〇	エソ	一二
カサコ	五二	イカケ	一二
アユ	三〇〇		[illegible]

日本の聖女

（上演 上映）

生田葵　南部龍平畫

一一八

密告と探索（二）

「此處ださうです。常川、高野や、お定を埋める役を務めたのは、此の増井氏ですが、今掘りかへして見ると二人の身體を包んで來た筵のみがあつて、肝要の亡骸は見當りません」

常川は庵之進の顔を見ると、其處に掘り返してある墓穴を指差して語つた。

お高お定の、亡骸の埋役を務めた小役人の増井藤三郎は、如何にも不しんの晴れやらない恐れ入つた容貌附きをして、埋めた時の模樣を語つた。

「私はしつかりと死骸の上に土をかぶせたのを見屆けてから歸りましたのでございます。あんな死骸を盗んで何うしやうと云ふんでせう」

隠坊人足に吉兵衛の方からさはして來たものであつた。

素知らぬ顔をして然うした會話を耳にしてゐた。

「よし／＼、それでは小役人は歸つてもよろしい。人足共も墓を以前通りにして歸るがいゝ」

神山の言葉に小役人の増井と、隠坊人足は歸つて行つた。

「岸田澄之進殿の話しでは、掘り出した死骸をかついだ奴等は、墓地の奥へと入り込み、足跡は京の町の方へと消えて行つたといふから、足取を見る爲め少しその邊を歩いて見やう」

神山が、さう云つて、歩き出したので、岸田と手先は其後に從つた。

墓地は直ぐ、左側と右側は山もない切崩つた山で區切られ人間の通行し得らるゝ道は、自然に右の方へと、京の町に向かふより外に行きやうがなかつた。その道を何處までも四人は辿つて行つた。するといつしか鳥邊野の墓地に行くと、左側に大仰山の麓へとつよく臆い径路が開けて眼には入つて來た。

其處も、墓地となつてはゐたが、其處の奥の方は、荒れ地で、あの化が住むと噂される蛇窪があることは、神山も、岸田も知つてゐた。

二人は蛇窪のある方へと視線を向けた後、互に顔を見合した。

何とも話さなかつたが、入り込んだ荒地小沼のある邊りを怪しいと思つたらしい容子が顔にあらはれてゐた。

と、神山の眼は、その邊の繁みが踏みにじられて、奥の荒地へと人の往通ふ小徑が出來てゐるのに吃と注がれた。

神山はその小徑の方へと踏み込んで往つた。

「此の邊へは入坂邊りの住人が祟でも取りに來るものと見えまするな」

岸田はそんなことを呟いて手先二人と一緒に神山の後に續いてゐた。

と、片側の高い草が、がさがさと靡いたので、四人は思はず驚いて足を止めると、其處には顔の崩れた癩病夫婦の乞食が突つ立つてゐた。

筵一枚天井に張られた下には、鍋釜や、石で圍つた竈の出來て居る容子で、其處に此乞食は住居して居るのが解つた。

「其方達は此處にもう長いこと住んで居るのか」

岸田が問ひ掛けた。

「はい、左樣でございます。——」

「どの位になる」

岸田は更に問うた。

「一年餘り此處に居さして頂いて居ります」

○—○—○—